

作品 No.151



生きものの“つぶやき”:

「小さくたって命のパワーは負けないんだから！乙女を甘く見ちゃダメよ」

エッセイ:

私がこのキノコを見つけた時の感動をどう表せば良いのでしょうか。雨上がりの木の幹に何というみずみずしきで生えてるのだろうか。透き通る色で指よりも小さいサイズでひっそりと、でも存在感を放つ姿に果てしない無限の生命力を叩きつけられた。まるで周りの空気までエネルギッシュな生命力を放つかのような生き生きとした姿。そんな姿を見てカメラを向けずにはいられまい。生き物にサイズは関係ないんだ、どれだけその時を一生懸命生きるかだ、と心を打たれた。自分の知らない世界でこんなにも小さな生き物が大いなる生命力を持って同じ時を共に生きている、その事に気づいた時、自然の偉大さ、そしてその豊かさと多様性を全身で感じられた。多忙な時間社会で自然に目を向けることも無くアタフタと過ぎ行く日常に心身共に疲労困憊な毎日だが、たまにこんな生き物に出会うと小さなことで悩んだり行き詰まったりしてるのが不思議なことに馬鹿馬鹿しくなる。自分より遥かに小さな生き物たちの計り知れぬ生命力に励まされる。たまにはそんな生き物たちに目を向けてパワーを分けてもらおう。(458字)

生きものの紹介:

オトメノカサ

温帯地域に分布しカラマツなどの針葉樹林や広葉樹林、また林内の地上などに生息する。

撮影場所・日時:

山梨県・2019年8月

応募者の自己紹介:

1. 王 伊純 (おう いずみ) / お茶の水女子大学附属高等学校2年
2. 軽音楽部所属
3. 将来の夢: 弁護士など法関係

審査員よりひとこと

エッセイの視点がユニーク。自然から受ける感動を感じます。写真も美しい。